

JRE 互換性問題と Java ポリシー ファイルでの文の不足により CTC の初期化が失敗

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[原因](#)

[解決方法](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Transport Controller (CTC) の初期化での障害の原因と、この問題の解決策について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco ONS 15454
- CTC

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco ONS 15454リリース4.5以前
- Cisco ONS 15454 SDHリリース4.5以前
- Java Runtime Environment(JRE)リリース1.3

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

CTCを起動しようとする、CTCがONS 15454にアクセスできず、CORBA障害のエラーメッセージが表示されます(図1を参照してください)。

図1:CORBA障害エラーメッセージ



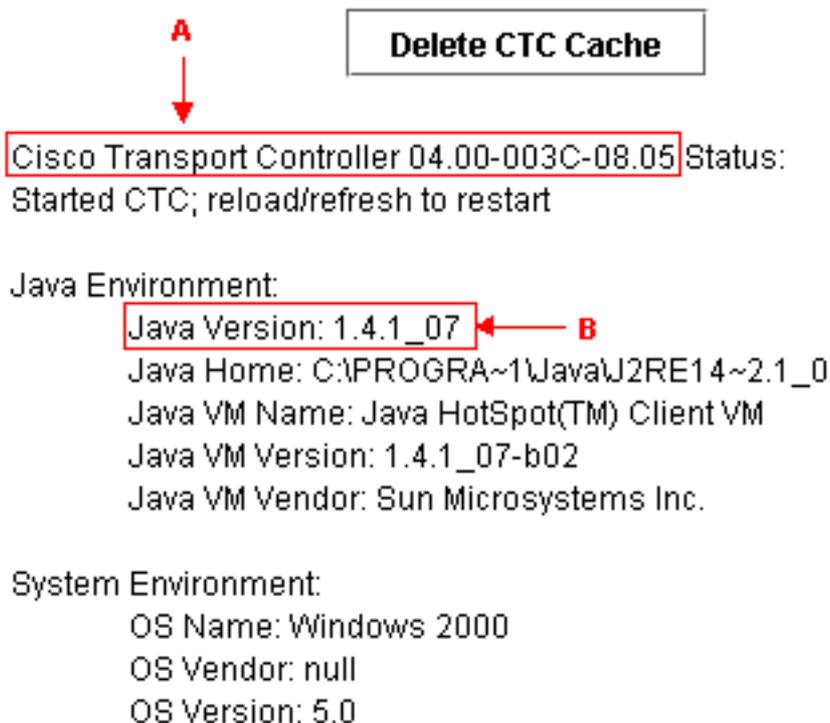
原因

この問題の原因は次の2つの問題です。

- Java Runtime Environment(JRE)はCTCと互換性がありません。
- java.policyファイルに必要なステートメントが含まれていません。

図2は、ONS 15454がリリース4.0 (矢印Aを参照) を実行し、JREバージョン1.4.1_07 (矢印Bを参照) を使用していることを示しています。

図2:CTC Java環境



Cisco ONS 15454リリース4.0をサポートするには、JREバージョン1.3に戻す必要があります。
互換性マトリクスについては、[ONS 15454および15327のJREダウンロード、インストール、お](#)

[よびCTCとの互換性マトリクスを参照してください。](#)

注：Cisco ONS 15454 CTCリリース4.6以降のバージョンでは、JREバージョン1.4.2が必要です。

解決方法

コンピュータに複数のJREをインストールしている場合は、次の手順を実行します。

1. Start > Settings > Control Panel の順にクリックします。Windowsコントロールパネルが表示されます。
2. [Java Plug-in_]をダブルクリックします。注：JREのバージョンがファイル名の一部として表示されない場合があります。注：[Java Plug-in Control Panel]ウィンドウが表示されます。
3. [基本]タブの[Javaプラグインを有効にする]および[Recycle Class Loader]チェックボックスをオンにします。
4. [Advanced] タブをクリックします。
5. [Use Java Plug-in Default]リストから適切なJREバージョンを選択します。
6. 「ブラウザ」タブを選択します。
7. ONS 15454へのアクセスに使用するブラウザを選択します。
8. [プロキシ]タブを選択します。
9. [ブラウザ設定を使用]チェックボックスをオンにします。
10. 「キャッシュ」タブを選択します。
11. 「Jarキャッシュを消去」をクリックします。
12. [Apply] をクリックします。
13. [Java Plug-in Control Panel]ウィンドウを閉じます。
14. Windowsの[コントロールパネル]リストのすべてのJavaプラグインフォルダに対して、手順2 ~ 13を繰り返します。
15. ブラウザウィンドウを開き、キャッシュをクリアします。次のステップを実行します。
Netscapeを使用する場合：「編集」>「環境設定」を選択します。[Preferences]ダイアログボックスが表示されます。「拡張」を展開し、「キャッシュ」を選択します。[メモリのキャッシュのクリア]をクリックします。[ディスクキャッシュのクリア]をクリックします。[OK] をクリックします。ブラウザのウィンドウを閉じます。新しいブラウザウィンドウを開きます。Internet Explorer(IE)を使用する場合：[Tools] > [Internet Options] を選択します。[Internet Options] ダイアログボックスが表示されます。[Advanced] タブを選択します。実行する必要があるバージョンを反映するには、Javaバージョンをオンまたはオフにします。IEブラウザを閉じて再起動します。

引き続き問題が発生する場合は、次の手順を実行します。

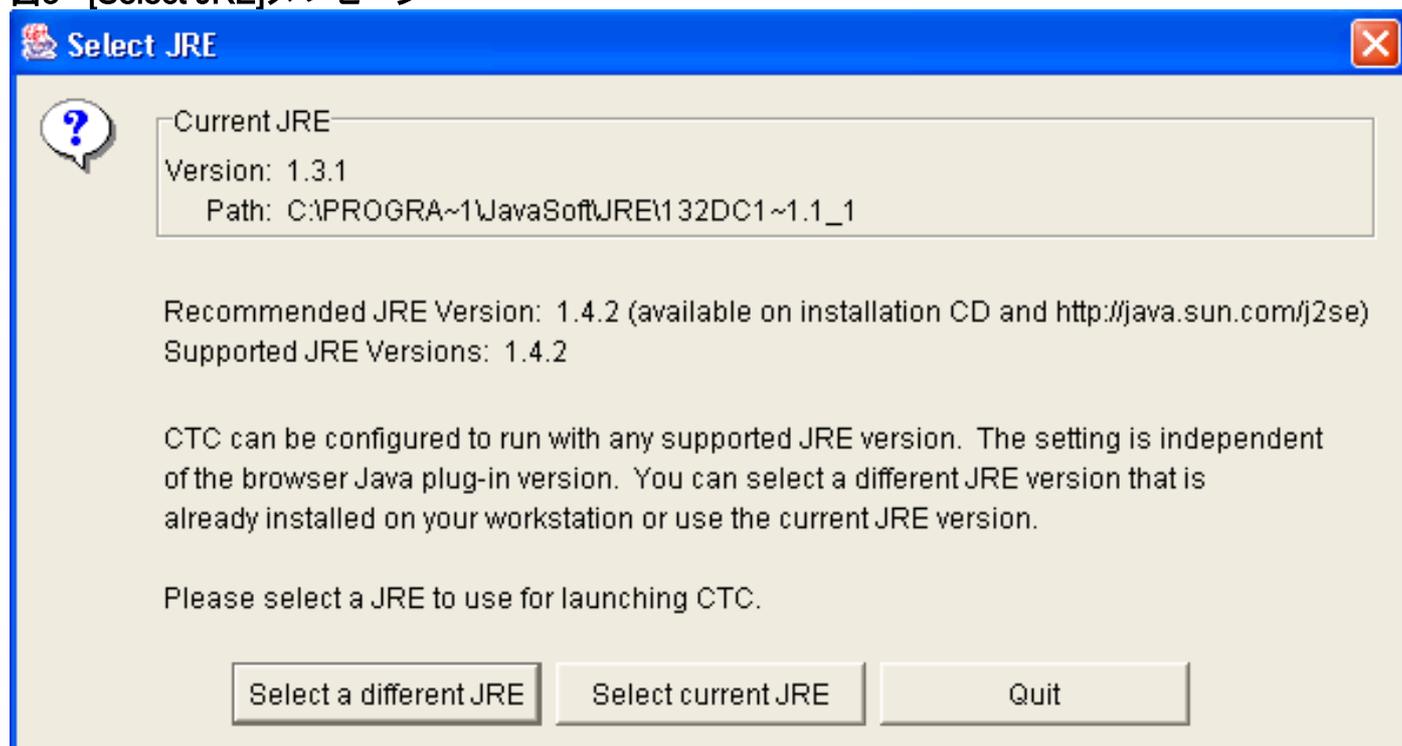
1. JREバージョン1.3を[Sun Microsystems](#) Webサイトからダウンロードします。
2. Sun Microsystemsが標準ダウンロードに含めるjava.policyファイルを探します。
3. 次のシスコのセキュリティ変更をjava.policyファイルに追加します。

```
!--- Insert this into the per-user or system-wide java.policy file. !--- DO NOT OVERWRITE  
THE SYSTEM-WIDE POLICY FILE: ADD THESE LINES! grant codeBase "http://*/fs/LAUNCHER.jar" {  
permission java.security.AllPermission; };
```

[JREの選択]メッセージが表示されたら(図3を参照)、[別のJREの選択]をクリックして続行します。次に、コンピュータ上の必要なJREファイルのインストール先フォルダを選択します。

注：必要なJREファイルのインストール先フォルダがわかっている場合にのみ、[別のJREを選択する]をクリックします。

図3 - [Select JRE]メッセージ



関連情報

- [JRE のダウンロード、インストール、および ONS 15454 と 15327 の CTC との互換性マトリックス](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)